

再処理・リサイクル部会
令和元年度 第1回運営小委員会 議事録

1. 日時： 令和元年5月20日（月） 13：30～15：30
2. 場所： 日本原燃株式会社 東京支社 第1会議室（日比谷国際ビル2階）
3. 出席者： 松田部会長、鈴木副部会長、魚住委員、大西委員、岸本委員、駒嶺委員、三倉委員、高橋委員、塚原委員、津幡委員、野上委員、福田委員、渡邊（記録）

4. 配布資料：

- 資料 1-1 令和元年度 第1回会合 議事次第
- 資料 1-2 平成30年度 第5回運営小委員会 議事録
- 資料 1-3 活動計画について
- 資料 1-4 第3回 再処理・リサイクル部会 夏期セミナー
- 資料 1-5 2019年度再処理・リサイクル部会セミナーについて
- 資料 1-6 GLOBAL2019 若手発表者の支援について（現状報告）
- 資料 1-7 部会等運営委員関係の報告
- 資料 1-8 企画セッション提案書
- 資料 1-9 部会賞について
- 資料 1-10 予算について

5. 議事概要

5. 1 自己紹介

- ・今回から新体制となるため、委員の自己紹介を行った。

5. 2 前回議事録について（報告者：渡邊委員）

- ・前回議事録は公開済み。（資料 1-2）

5. 3 活動計画について（説明者：津幡委員、塚原委員）

- ・委員の業務分担、年間スケジュール、予算計画が説明された。（資料 1-3、資料 1-10）

5. 4 夏期セミナーについて（説明者：大西委員）

- ・夏期セミナーの準備状況が説明された。（資料 1-4）
- ・今回は日本原子力学会の「将来原子力システムのための再処理技術」研究専門委員会と合同開催とする。
- ・日程は8/20-21、場所は青森原燃テクノロジーセンターとする。
- ・例年とは異なり、最初に再処理工場の見学を入れる。
- ・学生への旅費補助を例年通り行う。
- ・今回も日本原子力学会のCPDプログラムに参加することとする。

5. 5 部会セミナーについて（説明者：駒嶺委員）

- ・アクションプラン等が説明された。（資料 1-5）
- ・日程は 12 月上旬とする。
- ・会場の都合と、学生が参加しやすい日程を考慮して開催日を決定する。

5. 6 GLOBAL2019 若手発表者の支援について（報告者：津幡委員）

- ・参加費支援への応募状況が報告された。（資料 1-6）
- ・支援額が予算額を超えてしまう場合は、会計より学会事務局に予算計画変更伺いを出す。
（担当：塚原委員）

5. 7 部会等運営委員関係の報告（報告者：魚住委員）

- ・プログラム編成委員の交代の状況が報告された。（資料 1-7）
- ・秋の学会の企画セッション提案については、当部会からは見送る。

5. 8 部会賞について（説明者：渡邊委員）

- ・今年度の活動スケジュールが説明された。（資料 1-9）

5. 9 その他

- ・GLOBAL2019 のステアリング会議への参加者については、GLOBAL2017 の際の担当者や参与と相談する。（担当：松田部会長）
- ・SA 研究 WG のフェーズ 3 を準備中。
- ・運営小委員会への参加で旅費支給が必要な場合は、会計の塚原委員に連絡すること。

以上

再処理・リサイクル部会
令和元年度 第2回運営小委員会 議事録

1. 日時： 令和元年7月12日（金） 13：30～15：00
2. 場所： 日本原子力研究開発機構 東京事務所 第1会議室（富国生命ビル20階）
3. 出席者： 松田部会長、鈴木副部会長、秋山委員、魚住委員、川久保委員、岸本委員、駒嶺委員、高橋委員、塚原委員、津幡委員、野上委員、福田委員、渡邊（記録）、電中研／小山氏、飯塚氏、JAEA／松村氏

4. 配布資料：

- 資料 2-1 令和元年度 第2回会合 議事次第
- 資料 2-2 GLOBAL2019 共催申請書
- 資料 2-3 GLOBAL2023 対応など
- 資料 2-4 令和元年度 第1回運営小委員会議事録
- 資料 2-5 第3回 再処理・リサイクル部会 夏期セミナー
- 資料 2-6 2019年度再処理・リサイクル部会セミナーについて
- 資料 2-7 GLOBAL2019 若手発表者の支援について
- 資料 2-8 第37回全体会議資料
- 資料 2-9 部会賞について

5. 議事概要

5. 1 GLOBAL2019 共催について（報告者：津幡委員）

- ・日本原子力学会がGLOBAL2019の共催機関となる手続きと、日本原子力学会のロゴマークをGLOBAL2019側が使用する手続きを、当部会にて実施中であることが報告された。（資料2-2）

5. 2 GLOBAL2023 について（説明者：松田部会長）

- ・GLOBAL2023はアジアで開催する回であり、GLOBAL2019のステアリング会議で開催国について議論される見通しである。国内開催する場合は再処理・リサイクル部会が担当部会となる。そのため、これまでの国際会議のステアリング関係者を運営小委員会にお招きし、開催国に関する日本のスタンスを議論する。以上について、松田部会長より説明あり。（資料2-3）
- ・日本のスタンスについて議論を行った。ステアリング会議には松村氏、飯塚氏、塚原委員が参加する。

5. 3 前回議事録について（報告者：渡邊委員）

- ・前回議事録が紹介された。（資料2-4）
- ・部会ホームページへの掲載手続きを進めること。

5. 4 夏期セミナーについて（報告者：津幡委員）

- ・夏期セミナーのプログラム等が報告された。（資料2-5）

- ・昨年より広い72名収容可能な会場を確保。
- ・日本原燃の若手の参加も歓迎とする。
- ・グループ討論用の消耗品（付箋等）の支出が承認された。

5. 5 部会セミナーについて（説明者：駒嶺委員）

- ・準備状況等が説明された。（資料2-6）
- ・開催日については12/10、場所については東京大学山上会館を予定する。
- ・主に基調講演について議論を行った。

5. 6 GLOBAL2019 若手発表者の支援について（報告者：津幡委員）

- ・参加費支援の応募状況が報告された。（資料2-7）
- ・応募の9件について、申請者の部会員所属の有無や提出されたアブストラクトを元に審議が行われ、全員に支援することが承認された。
- ・予算超過の調整については会計の塚原委員に対応いただく。

5. 7 全体会議資料について（報告者：津幡委員）

- ・全体会議資料の構成が報告された。（資料2-8）

5. 8 部会賞について（説明者：渡邊委員）

- ・部会賞関係の調整状況が説明された。（資料2-9）
- ・今年度の表彰委員長については、昨年度に引き続き福井大／有田先生に就任いただくことが承認された。

5. 9 その他

- ・2名の旅費申請を承認した。

以上

再処理・リサイクル部会
令和元年度 第3回運営小委員会 議事録

1. 日時： 令和元年 10 月 28 日（月） 13：30～16：00
2. 場所： 日本原子力研究開発機構 東京事務所 第7会議室（富国生命ビル19階）
3. 出席者： 松田部会長、鈴木副部会長、栗飯原委員、秋山委員、魚住委員、大西委員、川久保委員、岸本委員、三倉委員、駒嶺委員、塚原委員、津幡委員、福田委員、渡邊（記録）、藤田顧問、飯塚参与、松村参与

4. 配布資料：

- 資料 3-1 令和元年度 第3回会合 議事次第
- 資料 3-2 令和元年度 第2回運営小委員会議事録
- 資料 3-3 第3回再処理・リサイクル部会夏期セミナー収支実績
- 資料 3-4-1 第15回再処理・リサイクル部会セミナー プログラム案
- 資料 3-4-2 第15回再処理・リサイクル部会セミナー ご案内
- 資料 3-4-3 第15回再処理・リサイクル部会セミナー アクションプラン
- 資料 3-4-4 第15回再処理・リサイクル部会セミナー 作業分担リスト
- 資料 3-5 部会賞について
- 資料 3-6 部会等運営委員会の報告
- 資料 3-7 GLOBAL2019 若手渡航費支援について
- 資料 3-8 核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究ワーキンググループ フェーズ3

5. 議事概要

5. 1 GLOBAL2019 ステアリング会議について（報告者：松村参与）

- ・GLOBAL2019 のステアリング会議で GLOBAL2023 の開催国を議論した際、開催可能なら日本で GLOBAL2023 を開催して欲しいという結論となったことが、松村参与より報告された。
- ・日本開催について、運営小委員会で下記の議論を行った。
 - ・日本原子力学会が主催となるため、担当部会の再処理・リサイクル部会が運営を主に担うことになると考えられる。
 - ・主催となる日本原子力学会への報告が必要である。
 - ・関連部会（核燃料、バックエンド、新型炉、他）に協力を要請するべきである。
 - ・国内のキーパーソンへの説明も必要である。

5. 2 新任委員の紹介

- ・新任となる JAEA/栗飯原委員より自己紹介があった。

5. 3 前回議事録について（報告者：渡邊委員）

- ・前回議事録が紹介された。（資料 3-2）

5. 4 夏期セミナーについて（報告者：大西委員）

- ・夏期セミナーの収支および改善点が報告された。（資料 3-3）
- ・夏期セミナーの収入の一部と部会予算にて移動用マイクロバス代を支出することとした。これにより、夏期セミナーの収入額と支出額は一致した。

- ・次回の改善点として、日本原燃サイト見学用身分証についての説明を分かりやすくすること、宿泊費の支払処理を簡便にすることが挙げられた。

5. 5 部会セミナーについて（説明者：松田部会長、駒嶺委員、川久保委員）

- ・部会セミナーのプログラムについて松田部会長より説明あり。（資料 3-4-1）
 - ・日時は 12 月 10 日、場所は東京大学山上会館。
 - ・テーマは住民、地元との対話活動／リスクコミュニケーション。
 - ・基調講演は青山学院大学 教授 岸田一隆氏。
 - ・テーマ講演は六ヶ所村商工会 会長 種市治雄氏。
 - ・特別講演は原子力発電環境整備機構 理事長 近藤駿介氏。
 - ・パネル討論、ポスターセッションを実施する。
- ・部会セミナーの開催案内について駒嶺委員より説明あり。
- ・案内を部会 HP に掲載後、部会全体のメーリングリストで情報配信する。
- ・部会セミナー事前準備のアクションプランについて駒嶺委員より説明あり。
 - ・事前準備の分担を確認した。
 - ・謝金について、学会員に支給できるのか会計に確認すること。
- ・部会セミナーの当日の作業分担リストについて川久保委員より説明あり。
 - ・非会員向けのアンケートを追加する。三倉委員から駒嶺委員に内容を送ること。
 - ・部会のメーリングリストで部会セミナーの概略情報を先行して出すこととする。

5. 6 部会賞について（説明者：渡邊委員）

- ・部会賞の準備状況が説明された。（資料 3-5）

5. 7 部会等運営委員の報告（説明者：魚住委員）

- ・部会等運営委員会での議論の状況が説明された。（資料 3-6）
- ・春の年会の企画セッションの申請期限は 11/11。鈴木副部会長が主査を務める「将来原子力システムのための再処理技術」研究専門委員会と共催で提案する方針となった。

5. 8 若手渡航費支援について（説明者：三倉委員）

- ・若手渡航費支援についての原子力学会からの依頼事項が説明された。（資料 3-7）

5. 9 SA 研究ワーキンググループについて（報告者：津幡委員）

- ・核燃料サイクル施設シビアアクシデント(SA)研究ワーキンググループのフェーズ 3 について設立状況が報告された。（資料 3-8）

5. 10 その他

- ・運営委員会参加への旅費支援が承認された。

以上

再処理・リサイクル部会
令和元年度 第4回運営小委員会 議事録

1. 日時： 令和元年 12 月 11 日（水） 10：00～11：00
2. 場所： 日本原燃（株）東京支社 第1会議室（日比谷国際ビル2階）
3. 出席者： 松田部会長、鈴木副部会長、秋山委員、新井委員、魚住委員、川久保委員、岸本委員、三倉委員、駒嶺委員、津幡委員、渡邊（記録）、松村参与

4. 配布資料：

- 資料 4-1 令和元年度 第4回会合 議事次第
資料 4-2 令和元年度 第3回運営小委員会議事録
資料 4-3-1 GLOBAL Conference History
資料 4-3-2 GLOBAL2011 会議開催報告書
資料 4-3-3 GLOBAL2011 関連資料について
資料 4-4 ANUP2016 会議開催報告書

5. 議事概要

5. 1 前回議事録について（報告者：渡邊委員）

- ・ 前回議事録が紹介された。（資料 4-2）

5. 2 フェロー推薦について（報告者：松田部会長）

- ・ 日本原子力学会からフェロー推薦の依頼あり。
- ・ 1月にかけて検討を進めることとした。

5. 3 GLOBAL2023 について（説明者：松田部会長、津幡委員）

- ・ GLOBAL2023 の国内開催に向けて議論を行った。
- ・ 津幡委員より、国内開催の国際会議 GLOBAL2011 と ANUP2016 の運営経験について紹介された。（資料 4-3-1、4-3-2、4-3-3、4-4）
- ・ 主な議論は下記の通り。
 - ・ 再処理・リサイクル部会の運営委員は、委員の活動の一環として GLOBAL2023 の事務局を担っていく方針とする。
 - ・ 通常の部会運営の業務と GLOBAL2023 の事務局業務は切り分ける必要はあると思うが、両方担当する人も出る可能性あり。
 - ・ 再処理・リサイクル部会の運営委員や部会員だけで事務局を組織する訳ではないので、体制については今後も検討していく。
 - ・ 再処理・リサイクル部会の運営小委員メンバーとして事務局業務に携わるので、運営小委員を交替した場合は、GLOBAL 事務局を交替して良いし、継続しても良い。
 - ・ これまでに国際会議を運営してきた先輩方にも意見を求めながら進める。
 - ・ GLOBAL2021 開催時に GLOBAL2023 について紹介する必要があるなので、それに向けて準備をしていく必要がある。

以上